

Title	クラゲ類の切手[1]
Author(s)	檉山, 嘉郎; 久保田, 信
Citation	うみうし通信 (1998), 21: 10-12
Issue Date	1998-02-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/180742">http://hdl.handle.net/2433/180742</a>
Right	© (財)水産無脊椎動物研究所
Type	Article
Textversion	publisher

# クラゲ類の切手【1】

京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所  
 榎山嘉郎 (Kashiyama Yoshiro) ・ 久保田信 (Kubota Shin)

世界のクラゲ類を意匠に用いた切手の発行は、わずかにこの半世紀にわたるものなので、動物切手としてはなじみが少ないかもしれない。しかし、クラゲ類は、最近では水族館などでも人気ででていること、ミズクラゲがわが国でも古くから教科書などに登用されていること、根口クラゲ類が中華料理に欠かせないものであること、カツオノエボシやアンドンクラゲなどがヒトを刺傷することなどを考えると、人間生活にも深い関係があるもの

も多いといえる。

クラゲ類の切手は、発行目的により、クラゲそのものの純切手であったり、ここにクラゲが描いてあるのか見出しにくい準切手もある。その他、シートのマージンに描かれたり、切手帳や初日カバーなどにも登用されたりする。

このようなクラゲ切手を著者らは収集しているが、最近、切手に描かれたクラゲ類について、著者らを含めた4名で網羅し、原則として発行年代順にまとめた

(榎山他, 1998)。そのまとめの表(表1)では、クラゲ類の学名と和名および綱の位置を示すとともに、切手の額面とカタログ番号を添えた。この表に基づき、世界のクラゲ切手を数回にわたってご紹介しよう。

## 引用文献

榎山嘉郎・久保田信・内田紘臣・田名瀬英明, 1998.  
 世界のクラゲ切手. くらしお, (17): 39-45.

表1 切手に描かれたクラゲ類【1】(○: 純切手)

図の番号%	学名*	和名	綱**	カタログ番号#	額面	発行年	発行国(当時)
1-2	Schypomedusae <sup>*.1,2)</sup>	鉢クラゲの一種	S	B 15,59	5+5,15 cts	1953	スペイン領イフニ
3-5	<i>Physalia physalis</i> <sup>*.2)</sup>	カツオノエボシ	H	303-305	2,5,15 F	1953	モナコ公国
6	Schypomedusae*	鉢クラゲの一種	S	348	25 F	1955	モナコ公国
7	? <i>Physalia</i> sp.	?カツオノエボシの一種	H	449	10 c	1960	モナコ公国
8	○ <i>Chrysaora melanaster</i> *	アカクラゲ	S	62	17 c	1959	琉球
9	○ <i>Chrysaora melanaster</i> *	アカクラゲ	S	80	17 c	1960	琉球
10	○ <i>Rhizostoma pulmo</i>	ビゼンクラゲ科の一種	S	1165	12 ct	1961	ブルガリア
11	○ <i>Physalia physalis</i>	カツオノエボシ	H	918	3 c	1964	キューバ共和国
12	○ <i>Aurelia aurita</i>	ミズクラゲ	S	919	3 c	1964	キューバ共和国
13	○ <i>Linuche unguiculata</i>	冠クラゲ目の一種	S	920	3 c	1964	キューバ共和国
14	○ <i>Cassiopea frondosa</i>	サカサクラゲの一種	S	921	3 c	1964	キューバ共和国
15	Medusa	クラゲの一種	?	618	75 L	1965	サンマリノ共和国
16	○ <i>Pelagia noctiluca</i> *	オキクラゲ	S	650	90 L	1966	サンマリノ共和国
17	Schypomedusae*	鉢クラゲの一種	S	B 422	25+10 c	1967	オランダ王国
18	<i>Aurelia aurita</i> *	ミズクラゲ	S	534	20 p	1968	レバノン共和国
19	Semaeostomae*+Ctenophora	旗口クラゲ目の一種+ 有櫛動物門の一種	S+	220	15 c	1968	ホンジュラス共和国
20	同上	同上	同上	253	15 c	1970	ホンジュラス共和国
21	同上	同上	同上	319	15 c	1973	ベリーズ
22	同上	同上	同上	334	15 c	1974	ベリーズ
23	<i>Physalia physalis</i> *	カツオノエボシ	H	1420	30 c	1969	キューバ共和国
24	Semaeostomae*	旗口クラゲ目の一種	S	751	0.40 c	1969	モナコ公国
25	Semaeostomae*	旗口クラゲ目の一種	S	1992	4.90 zy	1973	ポーランド共和国
26	○ <i>Pelagia noctiluca</i> *	オキクラゲ	S	557	4 c	1973	オーストラリア
27	○ <i>Cassiopea andromeda</i>	サカサクラゲの一種	S	54	50 c	1973	イギリス領インド洋地域
28	○? <i>Pelagia noctiluca</i> <sup>*.3)</sup>	?オキクラゲ	S	なし	1 p	1974	スコットランド
29	○ <i>Rhizostoma</i> sp.	ビゼンクラゲの一種	S	745	12 xu	1974	ベトナム社会主義共和国
30	Semaeostomae*	旗口クラゲ目2種	S	2327	50 gr	1979	ポーランド共和国
31	Semaeostomae	旗口クラゲ目の一種	S	798	4 s	1979	赤道ギニア共和国
32	○ <i>Mastigias</i> sp. <sup>*.1)</sup> + Semaeostomae <sup>*.4)</sup>	タコクラゲ科の一種+ 旗口クラゲ目3種	S+	11	5 c	1983	パラオ共和国

次号へつづく

% 図1~図32は原寸大。 \* 著者が同定。 \*\* H: ヒドロ虫綱; S: 鉢虫綱; C: 箱虫綱。 # スコット番号。

1) 初日カバー (FDC) にも意匠あり。 2) 同じ意匠だが額面と色彩が異なる。 3) 8連刷の1枚。 4) FDCに描かれたクラゲ類。





图 1



图 2



图 3



图 4



图 5



图 6



图 7



图 8



图 9



图 10



图 11 (上左)

图 12 (上右)



图 15



图 17



图 13 (下左)

图 14 (下右)



图 16



图 19



图 20



图 21



图 22





図23



図24



図25



図26



図27



図28



図30



図31



図32

当財団の1999年度の研究助成課題募集には育成研究助成に17課題、個別研究助成に63課題の応募をいただきました。ありがとうございました。結果の発表は次号です。



うみうし通信 No. 21

発行日 1998年12月31日

発行人 矢島 邦茂

編集人 池田 友之

発行所 (財) 水産無脊椎動物研究所

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町16-11

ルミネ日本橋 803

Tel.03-3667-3961 Fax.03-3667-3962

印刷 中西印刷(株) Tel.075-441-3155